

# 多様性を尊重した職場の コミュニケーションと 人権 **II**

個に向き合い、伝え合う

～収録テーマ～

- フツーって何？ 多様性を尊重した職場とは？
- 私を伝える 一緒に働く仲間への伝え方を工夫する
- 違うけど、つながる 外国人社員、障がいのある社員と働く



上映時間:25分 | 価格:66,000円(税抜) | 解説書・ワークシート・ドラマシナリオ付 | 字幕版同時収録 | 商品コード[C#3255]



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17 <http://www.toei.co.jp/edu/>



# このDVDについて

海老名  
室長



海外事業室長  
自身も成長しながら多様な部署の  
メンバーをまとめあげる

海外事業室

赤嶺  
課長



広報室課長

広報室

金子



広報室社員。車イスに乗っている

小野  
主任



海老名の頼れる右腕。育児時短中

内田  
新人



コミュニケーションが苦手な  
帰国子女

陳  
新人



北京から来たエリート  
中国人社員

松坂



派遣社員の気さくな  
ムードメーカー

外国人社員や障がいのある社員の増加等、あらゆる場面で職場の多様化が進む現代社会。企業で働くメンバーが、相手の“多様性”（個）に目を向け、それを尊重するコミュニケーションをとることが必要となってきました。相手の価値観や想いに目を向け、それを意識することで円滑で働きがいのある職場になるのです。企業の多様化が原因で発生する人権課題とその解決のヒントを分かりやすく描くドラマ教材です。

## Chapter 1 フツーって何？



ダイバーシティ&インクルージョン



\* \* \* \* \*

菓子メーカー「フレンド製菓」の海外事業室長・海老名は広報室から取材を受けていた。外国人や育児時短中の社員や派遣社員など多様性に富んだメンバーで成果を出している部署として社内的に注目されているからだ。しかし海老名は室が出来たばかりはトラブル続きだったことを告白する・・・

## Chapter 2 私を伝える



\* \* \* \* \*

新人の内田は海老名と小野からの「適当に作って」「なるはやでお願い」といった曖昧な仕事の指示に混乱して、会議室を飛び出してしまう。コミュニケーションが得意ではない内田との伝え方に戸惑う2人だったが、松坂から、伝え方を工夫すればきっと伝わるはずと教えられる。仕事は背中で学ぶものと考えていた海老名は、きちんと内田と向き合っていなかったことに気づき・・・

## Chapter 3 違うけど、つながる



\* \* \* \* \*

ある日海老名は中国人社員の陳に各国の「人気スイーツ」について調べるよう指示を出す。「できます」と勢いよく返事をする陳だが、数日たってもレポートが上がってこない。「できない」「わからない」といった言葉を口にしない陳に対して、海老名はチームで仕事をするの意味を説く。そこで、陳がミルクアレルギーを持っている事が判明したことから、一同は新たな商品展開のアイデアを思いつく。

教育映像



予告編配信中! <http://www.toei.co.jp/edu/>



\*撮影メモ\*

アビリティーズ・ケアネットさんの協力で、今回使用した車いす、スロープは、様々なケア商品の取り扱いの商品の中から障害者役の身体にあわせた物を使用しました。  
アビリティーズ・ケアネット株式会社 HP : <http://www.abilities.jp>